

第1回 SOSTAP 関西月例会議事録

日時 : 2016年5月13日 13:00~17:30

場所 : IDEC 株式会社 ホール C

出席者 : 福田会長、石原理事、梶原 (テュフ ラインランド ジャパン)、恩地 (ロス・アジア)、
梶原 (カネカ)、田部井 (安応研)、棚橋、大西 (村田機械)、安井 (IDEC) 敬称略

1. 議事内容

1)SOSTAP 新体制 (研究会／普及会) の立ち上げと運営方針について (福田会長)

- ・講習会等教育事業を主とする安全技術普及会を4月27日に一般社団法人として設立した。理事長は元ブリジストンの水野氏。
- ・研究会は現時点では規格・法令調査委員会 (東京) と関西委員会 (大阪) の2組織。
- ・月例会は東京での月例会と関西月例会の2組織。両月例会には各地区より1名が出張参加して情報の共有を図る。
- ・月例会の議事録は出席者が出張報告書に添付できる内容にする。また使用した資料はホームページからダウンロードできるようにする。
- ・月例会のメインテーマは6ヶ月くらいまで予め決めておく。月例会の開催案内には各議題の内容が分かるように説明文を入れる。
- ・安全技術応用研究会の今後の方針について
 - ① 会員会社の安全が維持継続できるように安全技術の研究・応用と普及に努める。
 - ② 会員以外の企業が講習会や書籍等を通じて本会の研究する安全技術を知り、理解・応用して安全の維持向上が図れるように安全技術の普及に努める。
 - ③ ①②を通じて日本の安全を底上げし、裾野を広げる。

2) 2015 年度 TC-5 (国際規格調査研究委員会 結果報告と討議)

TC-5 リスクアセスメント調査報告書の解説 (福田委員長)

- ・リスクアセスメント用語やその内容の理解、活用について ISO12100 : 2010 の付属書 B を再確認することにより、従来の「危険源/危険事象リスト」及び「RA シート」の問題点等を再検証した結果、今回のリストと RA シート改訂提案に至った経過の説明。(TC-5 活動報告書等は6月1日にオープンとなる安応研のホームページに掲載予定。)
- ・危険区域の設定/定義について議論が行われた。

3) 安全技術応用研究会のユーザ側のニーズについて

- ・ユーザ側のニーズについて、梶原さんから叩き台が提示された。
- ・メーカー側のニーズも追記して、関西月例会としてまとめ、東京での月例会に報告することにした。

2. その他

1) 次回月例会の開催予定 ※「2016年度 東京・関西月例会日程」参照（別途、事務局より共有済）

・ 東京：5月27日（金） 中小企業センター

・ 大阪：6月10日（金） IDEC 本社

以 上